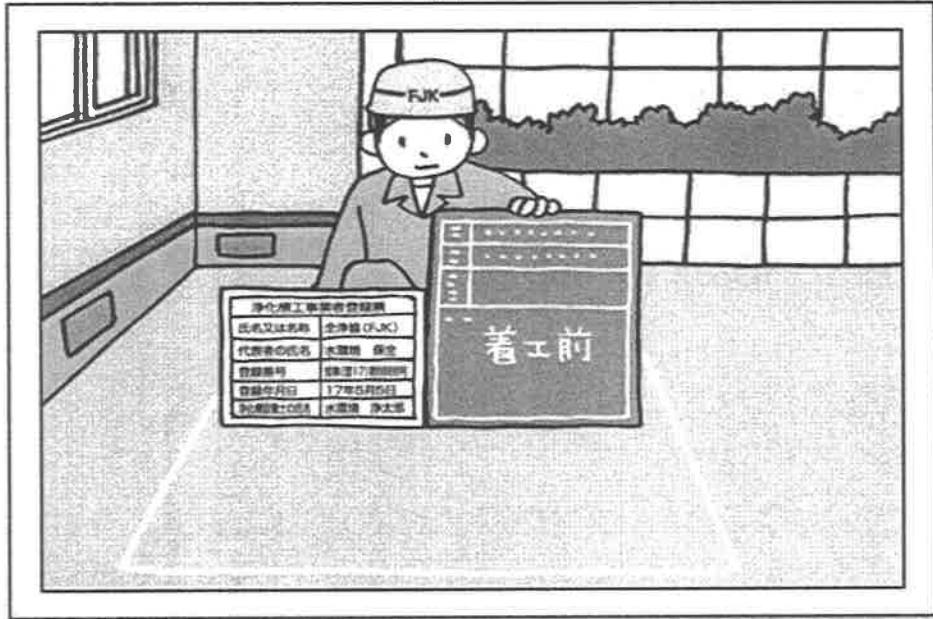


# 工事着手前

写真(着手前)



← 40cm以上 →

標識(様式第8号)

浄化槽工事業者登録票	
氏名又は名称	
代表者の氏名	
登録番号	知事(登)第 号
登録年月日	年 月 日
浄化槽設備士の氏名	

↑ 35cm  
以上 ↓

標識(様式第9号)

浄化槽工事業者届出済票	
氏名又は名称	
代表者の氏名	
届出番号	知事(届)第 号
登録年月日	年 月 日
浄化槽設備士の氏名	

標識の掲示は国土交通省「浄化槽工事業に関わる登録等に関する省令第9条」に定める別記様式第8号・同第9号による。

## 写真のポイント

- ・ 浄化槽の設置場所を明確にし、周辺状況が分かるよう撮影。
- ・ 浄化槽設備士が正面を向き、顔がはっきり分かるように撮影。
- ・ 標識・工事看板と一緒に撮影。

# 床堀(床付け)完了

写真(床付け完了状況)

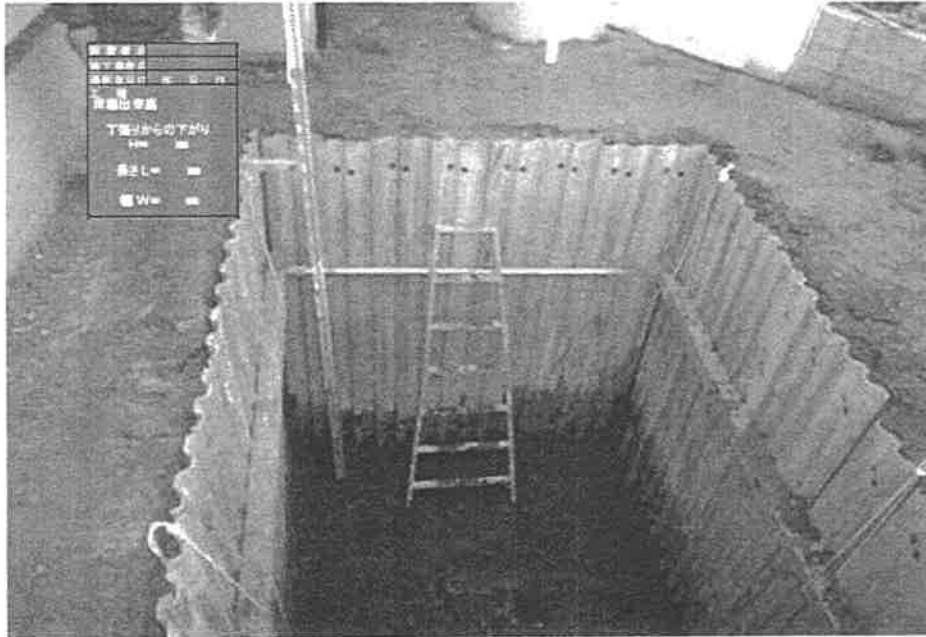
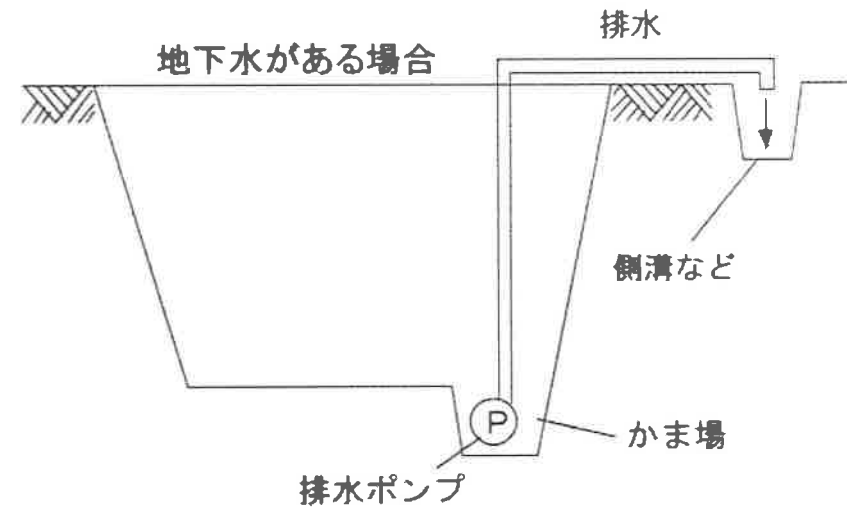


図-1(参考)



## 工事施工のポイント

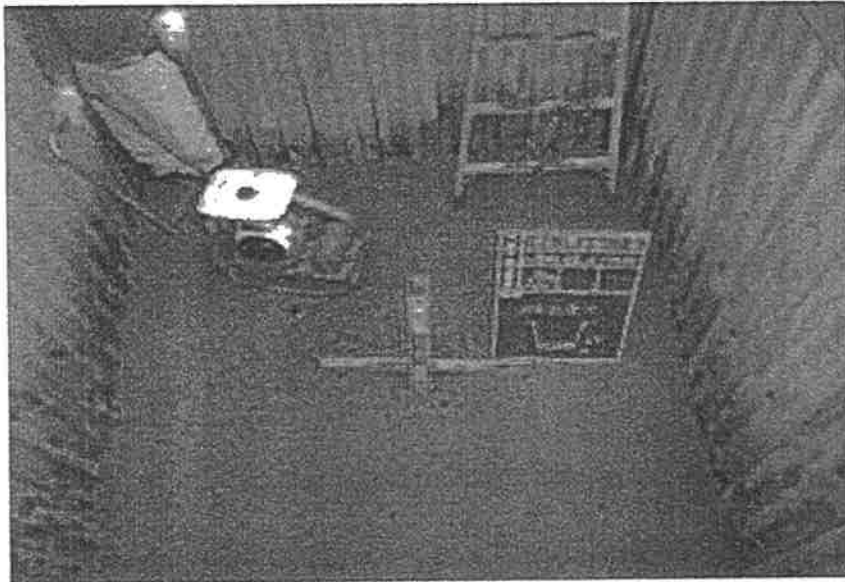
- ・ 土砂が崩壊しないように、関係法令等(労働安全衛生規則等)に従い、適切に行うこと。
- ・ 掘りすぎないように注意して掘削してください。掘りすぎた場合の調整は、捨てコンクリートで行うこと。
- ・ 地下水等がある場合は、図-1(参考)のように諸条件に合った適切な排水処理をすること。

## 写真のポイント

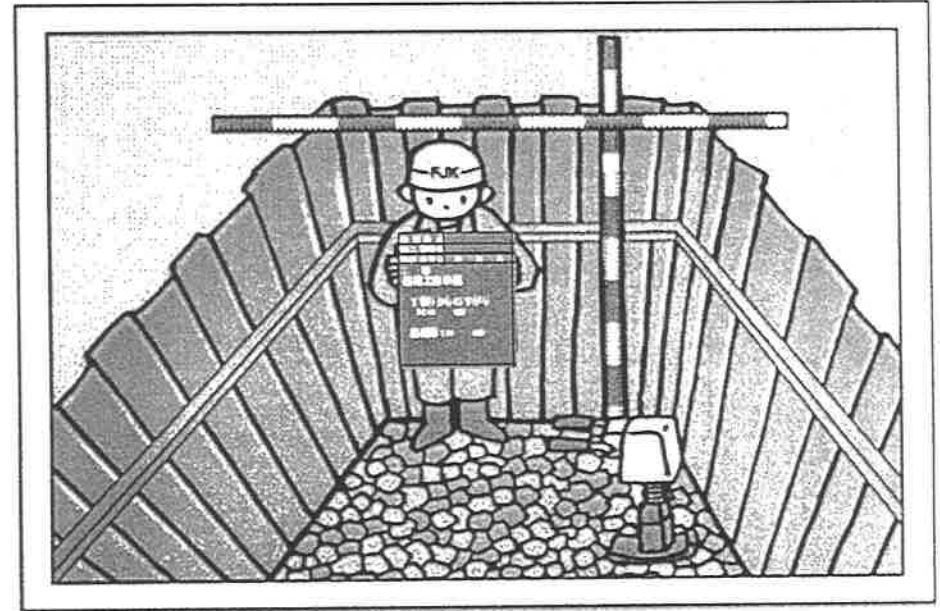
- ・ 丁張り(または既設構造物等の動かないものを基準高とする。土の地面を基準高にしないでください。)から床付けまでの深さが確認できるよう撮影。
- ・ 床付け面の長さ、幅が確認できるよう撮影。(目盛りが見えづらい時は、近接撮影を追加。)

# 割栗地業(基礎碎石)完了

写真(基礎碎石仕上り状況)



写真(基礎碎石仕上り状況)



## 工事施工のポイント

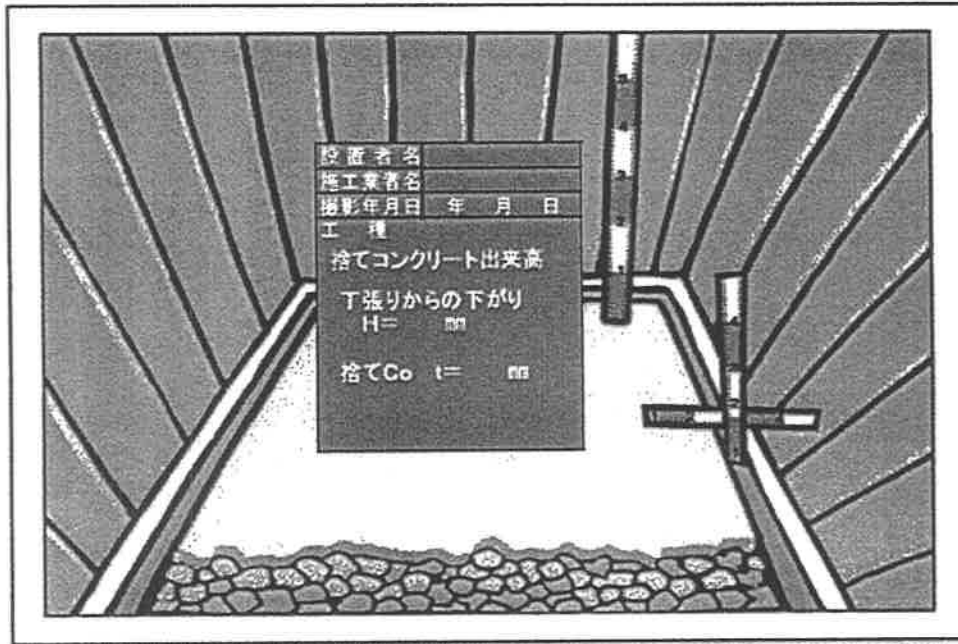
- ・ 基礎碎石は、割栗石(大きさ45mm内外の碎石)、山碎等を地盤の状況に応じて適切に地業を行う。
- ・ 床付け面の転圧後、割栗石を敷き詰めた上から砂利を撒いて、さらに転圧を十分を行う。
- ・ 仕上がり厚みは、10cm以上。

## 写真のポイント

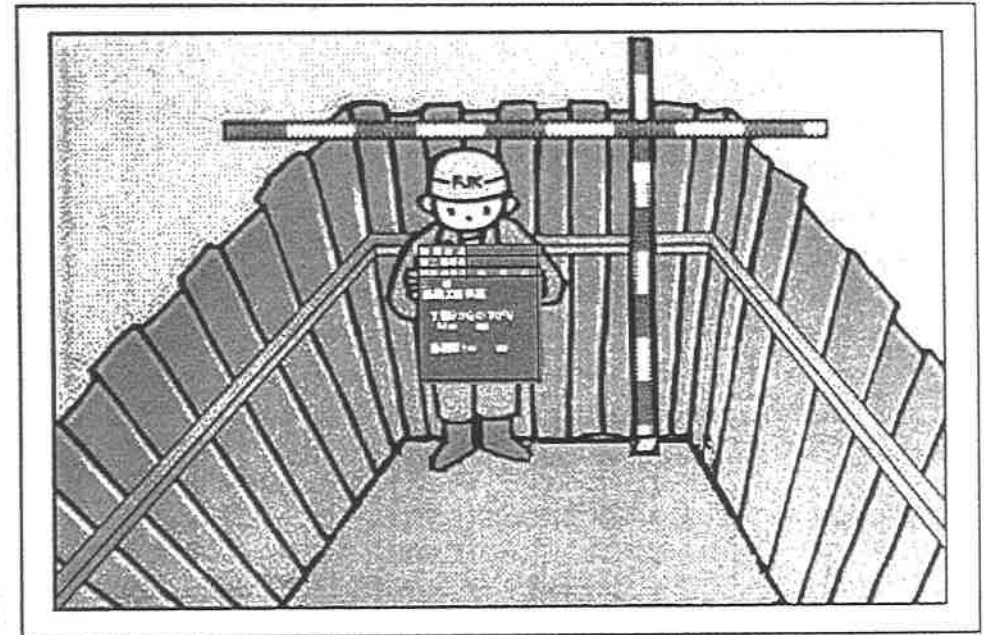
- ・ 仕上がり厚さが確認できるよう撮影。(基準高から管理することも可能。目盛りが見えづらい時は、近接撮影を追加。)
- ・ 機械転圧作業を行っていることが確認できるよう撮影。

# 捨てコンクリート完了

写真(捨てコンクリート打設状況 )



写真(捨てコンクリート打設状況 )



## 工事施工のポイント

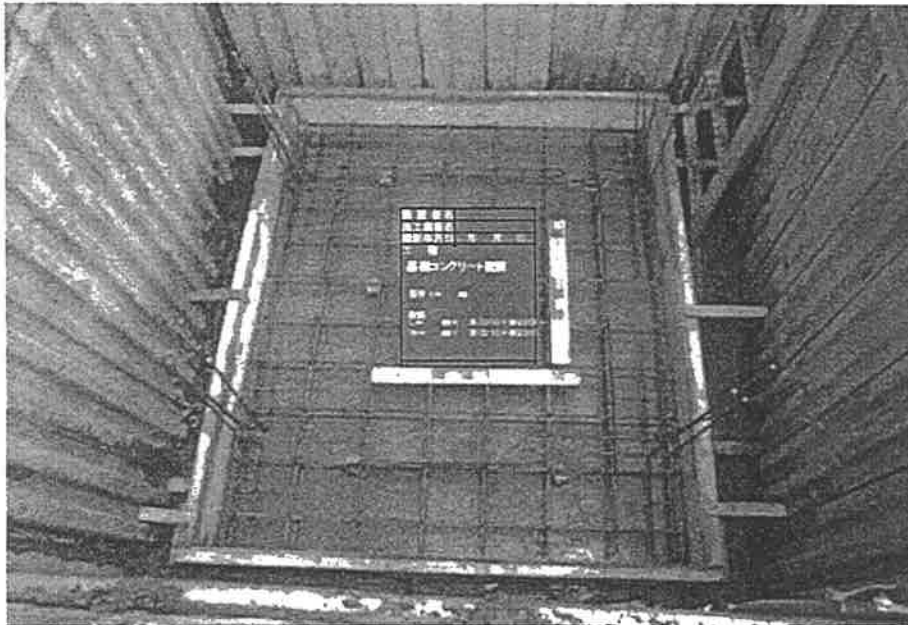
- ・ 捨てコンクリートの厚みは、5cm以上。(コンクリート設計基準強度15N/mm<sup>2</sup>以上)
- ・ 十分な養生期間をとること。

## 写真のポイント

- ・ 仕上がり厚さが確認できるように撮影。(基準高から管理することは可能。目盛りが見えづらい時は、近接撮影を追加。)

# 基礎コンクリートの配筋状況

写真(基礎コンクリート配筋状況)



※ 特殊工事(駐車場仕様)の場合  
は、各メーカーの施工要領書等  
による。

表-2 ユニット型浄化槽の基礎等の厚さ

(単位mm)

処理対象人員	50人以下	51~ 500 人以下	
切込み碎石 (切込み砂利)	100以上	150以上	
すてコンクリート	50以上	50以上	
底版 コンクリート	コンクリート	150(100)以上	200以上
	配筋	D10-@200 (シングル)	D13-@200 (ダブル)

注1) Dは異形鉄筋、@は鉄筋中心間隔を示す。

注2) 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)及びSHASE-S010-2000をもとに作成

## 工事施工のポイント

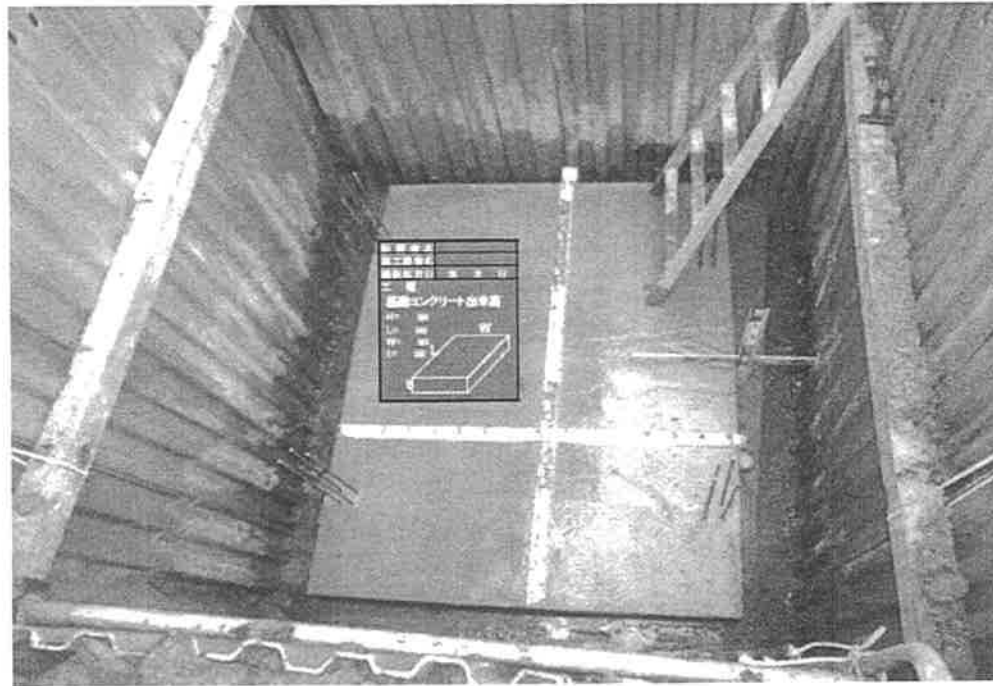
- ・ 基礎コンクリートの広さは、浄化槽外形寸法より大きくし、捨てコンクリート施工寸法より小さく施工。
- ・ 基礎コンクリートの厚さは、10cm以上。(コンクリート設計基準強度18N/mm<sup>2</sup>以上、スランプ18cm以下)
- ・ 配筋は、異形鉄筋10mmを200mm間隔(シングル)で組み立て、必ずスペーサーを設置し被りを確保する。
- ・ 十分な養生期間をとる。

## 写真のポイント

- ・ 鉄筋の間隔がスケール等で確認できるよう撮影。(鉄筋が全部写る。目盛りが見えづらい時は、近接撮影を追加。)

# 基礎コンクリート完了状況

写真(基礎コンクリート仕上り状況)



## 工事施工のポイント

- ・ 十分な養生期間をとり、撮影する際には必ず型枠は脱却すること。

## 写真のポイント

- ・ 仕上がり長さ、幅、厚さが確認できるよう撮影。(基準高から管理も可能。目盛りが見えづらい時は、近接撮影を追加。)

# 浄化槽本体の搬入状況

写真(浄化槽本体搬入の写真)

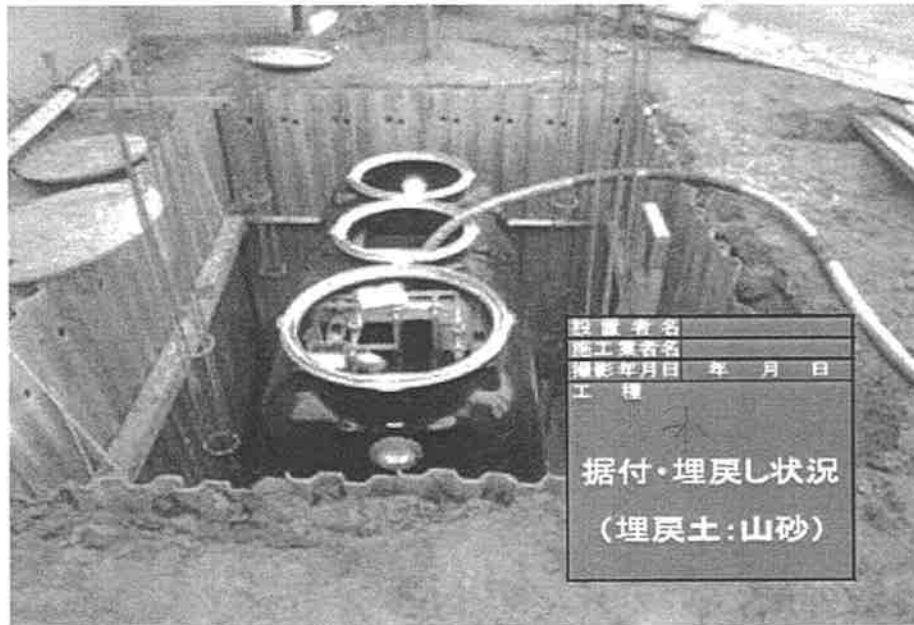


写真のポイント

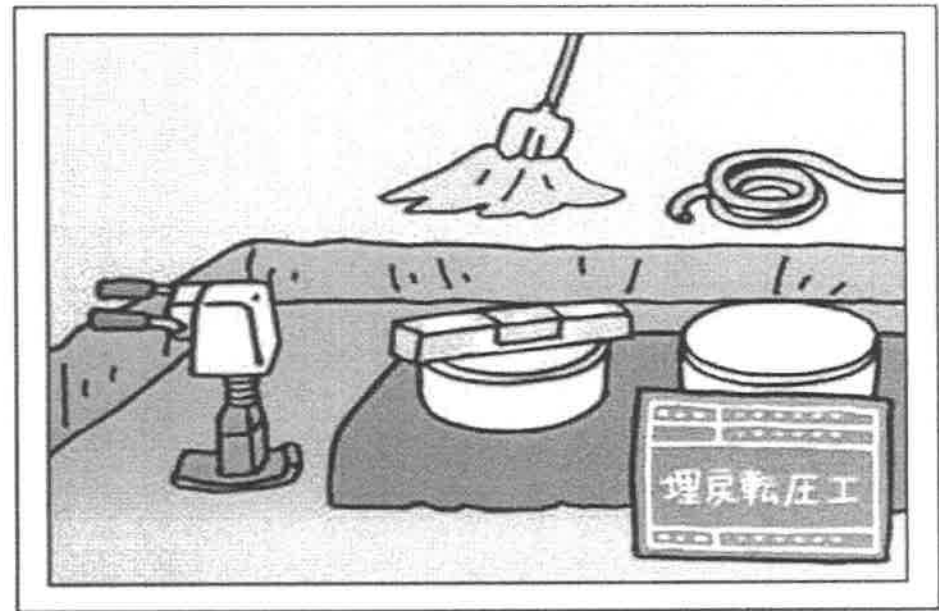
- ・ 現場への浄化槽搬入状況、本体に明記されているメーカー、型式、人槽等が確認できるよう撮影。

# 浄化槽の据付・埋戻し状況

写真(埋戻し状況)



写真(埋戻転圧状況)



## 工事施工のポイント

- ・ 本体を傷つけないよう山砂(再生砂等)にて埋戻し、十分な締固めを行う。
- ・ 埋戻し、水締め、機械転圧による締固めは、不等沈下が発生しないように何回かに分けて一連作業を行う。

## 写真のポイント

- ・ 埋戻し状況として、埋戻し前(中)の水張り、水平確認による作業、水締め及び機械転圧状況が確認できるように撮影。



# 上部スラブコンクリートの配筋状況

写真(上部スラブコンクリート配筋状況)

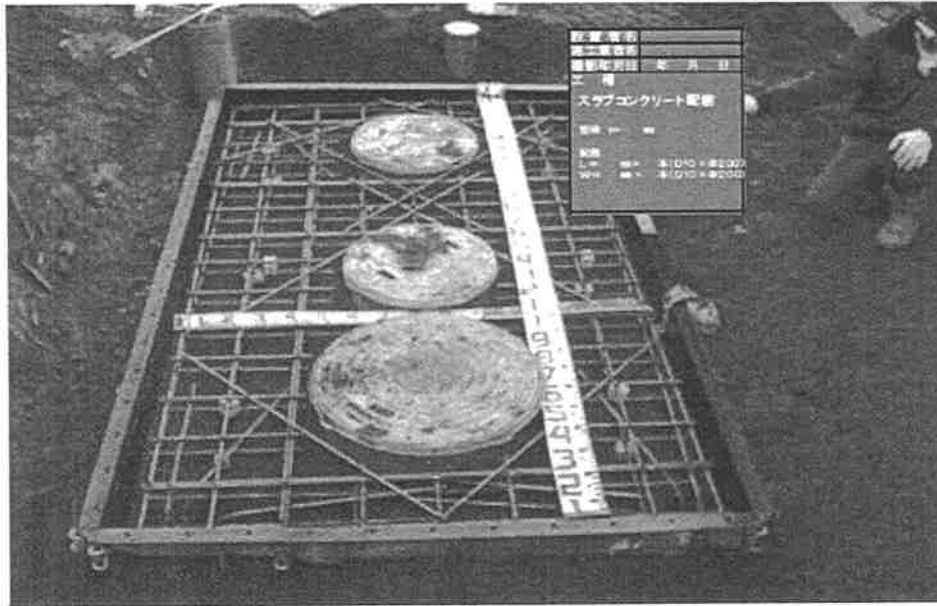
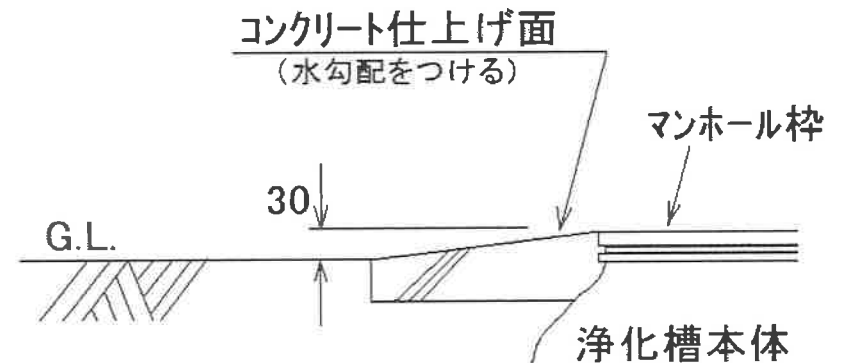


図-2(参考)



## 工事施工のポイント

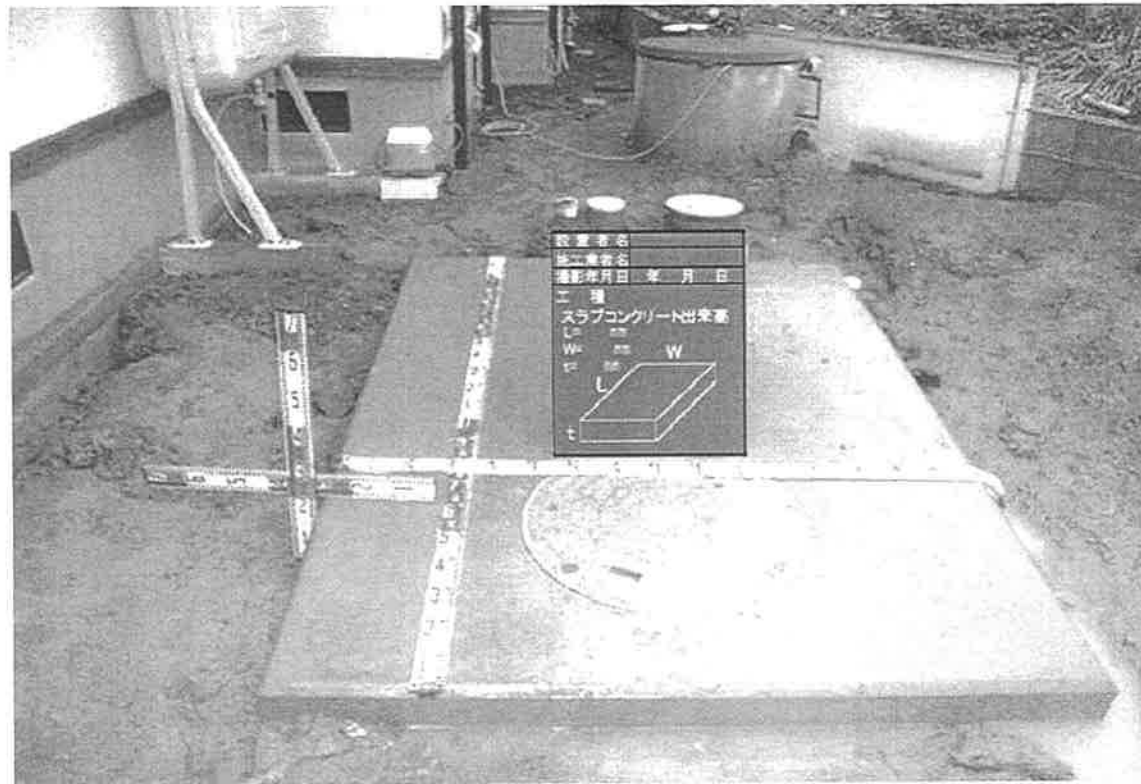
- ・ 上部スラブは、原則として地盤面より3cm以上高くする等雨水の流入防止策を講ずること。上部スラブコンクリートの仕上り厚さは、10cm以上。(コンクリート設計基準強度 $18\text{N}/\text{mm}^2$ 以上、スランプ18cm以下) 上部スラブ天端上の雨水が流れるよう表面に勾配を付ける。
- ・ 配筋は、異形鉄筋10mmを200mm間隔(シングル)で組み立て、必ずスペーサーを設置し被りを確保する
- ・ 十分な養生期間をとる。

## 写真のポイント

- ・ 鉄筋の間隔がスケール等で確認できるように撮影。(鉄筋が全部写る。目盛りが見えづらい時は、近接撮影を追加。)

# 上部スラブコンクリートの完成状況

写真(上部スラブコンクリート仕上り状況)



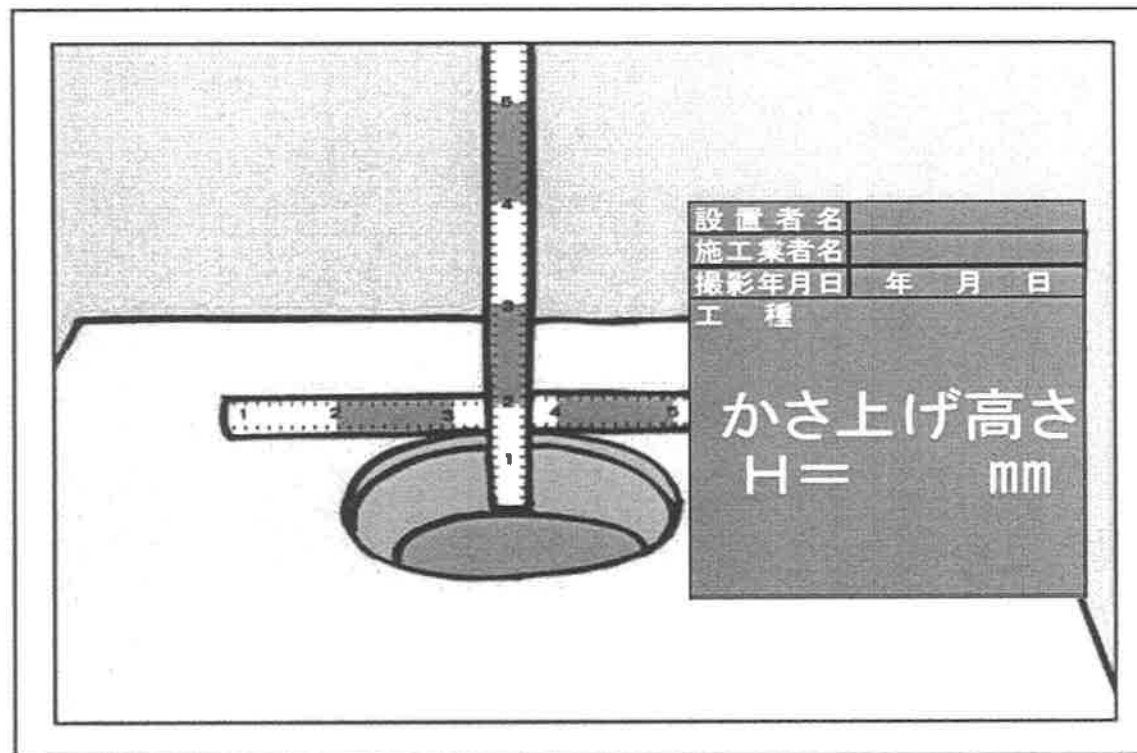
## 写真のポイント

- ・仕上がり長さ、幅、厚さが確認できるように撮影。

# マンホール蓋の嵩上げ状況

(嵩上げが必要な場合のみ)

写真(マンホール蓋嵩上げ状況)

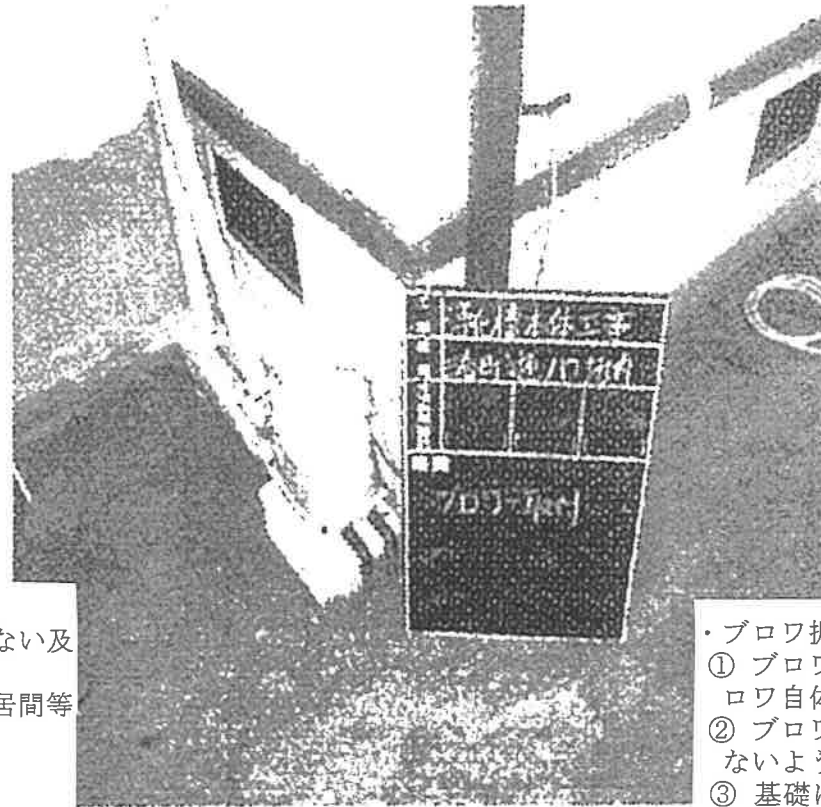


写真のポイント

- ・スケール等で嵩上げ高さが確認できるように撮影。(嵩上げ高さは、30cm以内。30cm以上になる場合は、ピット構造にする。)

# ブロワの設置状況

写真(ブロワ設置状況)



- ① ブロワは、保守点検が容易に行える場所。
- ② ブロワは、日陰で風通しが良く、雨水がかからない及び積雪とならない場所。
- ③ ブロワは、運転音及び振動を考慮し、寝室及び居間等からできるだけ離れた場所。
- ④ ブロワは、冠水のおそれのない場所。

(注1) 海岸の近くで、砂や塩による障害が考えられる場合は、その対策を行うこと。

(注2) 積雪対策で、ブロワを高い位置に設置する場合は、吐出量不足とならないようすること。

## ・ブロワ据付基礎

- ① ブロワを据え付ける基礎は、コンクリート製とし、ブロワ自体の重量や振動に耐えるもの。
- ② ブロワの基礎は、振動が直接建築物（家屋）に伝わらないよう、建築物の基礎から離すこと。
- ③ 基礎は、地盤(GL)より10cm以上高くし、ブロワの外寸より大きくする。

・ブロワの据付工事は、配管方向を確認し、送気管の接続を行う。

# 完成写真

写真(完成状況)



## 工事施工のポイント

- ・ 残土処理、廃材処理、後片付けは適正に行うこと。

## 写真のポイント

- ・ 工事完了が確認できるよう、着手前写真の場所と撮影方向を合わせて状況写真を撮影。
- ・ 標識(8号又は9号)及び工事看板を入れて、工事の管理監督を行った浄化槽設備士が写真に入ること。

## その他工種の写真について

### 浸透柵

放流先が浸透柵の場合は浸透柵の施工写真及び施工後の写真

注) 浸透柵の構造がわかる設計図等が添付書類に必要となります。

### 駐車場仕様にする場合

浄化槽メーカーの施工要領等により工事が適切に行われたことが確認できる写真

例) 配筋や円柱支柱の場合はその直径がわかるもの等

注) メーカーの施工要領書等が添付書類として必要となります。

### かさ上げが 30 cm を超える場合

浄化槽メーカーの施工要領等により工事が適切に行われたことが確認できる写真

注) 南部町では 30 cm 以上となることを想定していませんので、その際には必ず事前報告してください

### ピット工事の場合

浄化槽メーカーの施工要領等により工事が適切に行われたことが確認できる写真

注) 南部町ではかさ上げが 30 cm を超えることはなく、寒冷地でないためこの工事は基本ないと思われます。工事が必要となる場合は事前に報告してください。

### 大きな荷重がかかる場合の対策

浄化槽メーカーの施工要領等により工事が適切に行われたことが確認できる写真

注) 現在、この工事については国及び県と協議中です。わかり次第改めて連絡します。